⑩　安産の神　柳　稲荷社と夫婦銀杏

柳の稲荷社は、この村に難産の思いがないことから、安産の守護神として柳地区のみではなく、広く近郊からも人々が祈願に来たといわれています。創立は、宝暦５（１７５５）年といわれますが、たび重なる火災や台風により大きな被害を受けました。現在の社殿は昭和６１年に地域の人々の願いと協力により再建されたものです。安産の祈願には、稲荷社の白狐の置物を拝借して帰り、出産後に祈願のお礼に拝借した白狐の置物一対と新しく買い求めた一対を奉納する習慣があったと伝えられています。

夫婦銀杏

柳の稲荷社の境内に夫婦銀杏と呼ばれる一対の古木があります。

男銀杏は胴回り約６ｍ、高さ３５ｍ、女銀杏は胴回り約３・７ｍ、高さ３２ｍ、樹齢は１０００年と言われ、町の天然記念物に指定されています。

秋になるとまわりの緑にひときわ黄金色が映え、見事な秋の景色をみせています。また、この木を少し削って飲むとお乳がよく出るという言い伝えがあります。

町指定天然記念物　夫婦銀杏
昭和 47 年 10 月 3 日指定

ムクロジ

太さ周囲約１・７８ｍ、高さ約２０ｍに達する大木でムクロジ科に属します。種は成熟すると紫黒色で硬いので正月の羽子板の羽の球に使い、また、果皮には「サポニン」を含むことから石鹸の代用として使用されました。この地域にとっては珍しい木で町の天然記念物に指定されています。

ムクロジの実

ムクロジ
町指定天然記念物
昭和 58 年 6 月 2 日指定